



**Super
Taikyu**





公式プログラム

【イベント概要】

- イベント名称：スーパー耐久シリーズ2017 第3戦
SUZUKA“S耐”サバイバル
併催 Audi R8 LMS Cup 2017 Round 3&4
Honda Sports & Eco Program
CR-Z 10リッターチャレンジ 6.10 鈴鹿
- 日程：2017年6月10日(土) 公式予選/決勝
11日(日) 決勝
- 主催：名古屋レーシングクラブ(NRC)
鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
株式会社モビリティランド
- 公認：一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 後援：三重県/鈴鹿市/鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/
一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所
- 会場：鈴鹿サーキット国際レーシングコース フルコース(4輪用:5.807km)
- 天候・動員：6月10日(土) 晴れ 31.3℃ 10,000人
11日(日) 薄曇り 26.4℃ 12,000人
※気象状況は各日とも津地方气象台15:00発表
[2016年実績]
6月11日(土) 薄曇り 24.9℃ 10,000人
12日(日) 雨 23.2℃ 10,000人

【メディア概要】

- 取材者数：46媒体 101名(昨年実績:48媒体124名)
- テレビ放送：BS11 7月9日(日) 17:30~18:00
とちぎテレビ 7月9日(日) 22:30~23:00(予定)
- オフィシャルサイト：鈴鹿サーキット公式ウェブサイト <http://www.suzukacircuit.jp/>
スーパー耐久公式ウェブサイト <http://www.supertaiky.com/>

1991年の「N1耐久」を源流とし、今年で26年目の歴史を誇る「スーパー耐久」(S耐)。市販車ベースの多彩なマシンによる争いが根強い人気を獲得しています。今年は新たなクラスST-TCRが加わり、国内トップドライバーも参戦するなど魅力もアップ。10(土)に敗者復活戦となる100分間の戦い「セカンドチャンス100」、そして11(日)に4時間耐久の決勝レースと密度の高い週末を観客の皆さまにお楽しみいただきました。

サポートレースには鈴鹿初開催のオーディアR8 LMSによるワンメイクレース「Audi R8 LMS Cup」とHonda CR-Zによる「Honda Sports & Eco Program CR-Z 10リッターチャレンジ」が華やかに開催されました。



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

注目の総合優勝争いは、ST-Xクラスを軸に展開されました。2番手スタートのY's distraction GTNET GT-R(植松忠雄/星野一樹/藤波清斗組)がポールポジションのARN Ferrari 488 GT3(永井宏明/佐々木孝太組)をスタートでかわし、トップを快走。しかし、残り1時間というところで2位のENDLESS・ADVAN・GTR(YUKE TANIGUCHI/山内英輝/元嶋佑弥組)がピット作業で逆転。ARN Ferrari 488 GT3も交えての激しいトップ争いとなりましたが、Y's distraction GTNET GT-Rが再度逆転。リードを広げながら逃げ切り、今季初優勝を飾りました。鈴鹿初登場のST-TCRクラスはModulo CIVIC TCR(黒澤琢弥/石川京侍/加藤寛規組)が逆転で今季2勝目、初代の鈴鹿ウイナーとなりました。

各クラス決勝ウイナー

■ ST-X class (FIA GT3に準拠した車両)

MACHINE

Y's distraction GTNET GT-R

DRIVER

植松 忠雄/星野 一樹/藤波 清斗



■ ST-TCR class (FIA TCRに準拠した車両)

MACHINE

Modulo CIVIC TCR

DRIVER

黒澤 琢弥/石川 京侍/加藤 寛規



■ ST-2 class (排気量2001cc~3500ccの四輪駆動車両)

MACHINE

DAMD MOTUL ED WRX STI

DRIVER

大澤 学/後藤 比東至



■ ST-3 class (排気量2001cc~3500ccの二輪駆動車両)

MACHINE

DENSO Le Beausset RC350

DRIVER

嵯峨 宏紀/中山 雄一/山下 健太



■ ST-4 class (排気量1501cc~2000ccの車両)

MACHINE

TOM'S SPIRIT 86

DRIVER

松井 孝允/蒲生 尚弥/坪井 翔



■ ST-5 class (排気量1500cc以下の車両)

MACHINE

村上モーターズMAZDAロードスター ND

DRIVER

村上 博幸/脇谷 猛/加藤 正将



※タイヤは横浜ゴムのワンメイク

サポートレースウィナー

【Audi R8 LMS Cup】



Round 3
Alessio Picariello



Round 4
Cheng Congfu

【Honda Sports & Eco Program CR-Z 10リッターチャレンジ】



土橋元亮

※ 詳細なリザルトは以下をご参照ください。

鈴鹿サーキット公式ウェブサイト
<http://www.suzukacircuit.jp/>
 スーパー耐久公式ウェブサイト
<http://www.supertaikyuu.com/>

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【プレスリリース】

3月13日(月) 開催概要およびチケット発売のご案内



【自社媒体 公式ホームページ・Youtube】

参戦ドライバーコメントを動画で紹介



【自社媒体 Twitter】

事前、当日に現地観戦の魅力を紹介



【Facebook広告】

6月1日(木)~6月10日(土)

- ・関西圏、東海圏
- ・リアクション 7,715件
- ・コメント 27件
- ・シェア 123件

【記事タイアップ】

6月5日(月) オートスポーツWEB掲載

- ・セカンドチャンス100
- ・ウェイトハンデ
- ・参戦ドライバー
- ・各クラスの見どころ



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



ご自身のカメラをお持ちの方を対象にSIGMA製超望遠レンズを無料でお試しください「SIGMA 超望遠レンズ体験」(D席エリア)。



ピットウォーク入場可なお客さまを対象に行われた「Audi R8 LMS Cupグリッドウォーク」(11日)。



コチラレーシングファンクラブ会員を対象にスーパー耐久決勝出場マシンをエスコートしていただいた「S耐 グリッドキッズ」(11日)。



小学生以下のお子さまと保護者の方を対象にスーパー耐久出場チームのピットをご体験いただいた「ピット訪問ツアー」。

PICK UP 1

日替りでHonda S660とポルシェのオーナーズミーティング(GPスクエア)&国際レーシングコースパレードが行われ、大会を華やかに盛り上げました。

【Honda S660】10日(土) 99台参加



【ポルシェ】11日(日) 79台参加



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

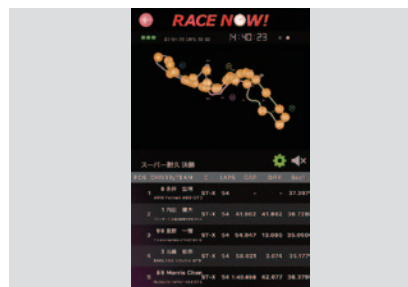
120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



昨年のチャンピオン「スリーボンド日産自動車大学校GT-R」に声援を送る日産自動車大学校の皆さん(11日)。



スマートフォンでライブタイミングやマシンのポジションなどレース状況がわかる無料アプリ「RACE NOW!」が登場。耐久レースには欠かせないアイテムです。



中学生以下のお客さまを対象に本物のレーシングマシン「Honda Sports & Eco Program」のCR-Z搭乗体験を行っていただきました。



決勝レースの熱気が冷めやらぬホームストレート上のパルクフェルメ(車両保管場所)の間近までお入りいただき、戦いを終えたばかりのマシンをご覧いただいた「パルクフェルメウォーク」(11日)。



今年で40回を迎える「コカ・コーラ」鈴鹿8耐のマシン展示・搭乗やレーシングコースのVR体験がお楽しみいただける「40th Anniversary "8耐ZONE"」(ゆうえんち内ジョイフル広場)。



ピットウォーク中に行われたウェディングパレード。参加者、観客、そしてオフィシャルの皆さんから温かい祝福の拍手が贈られました(10日)。

PICK UP 2

GPスクエアに設置された「スーパー耐久オフィシャルステージ」では大会期間を通じてさまざまなイベントが展開されました。



ドライバートークショー。右から小河諒、山下健太、中山雄一の各選手。



各チームのレースクイーンが一堂に会した「レースクイーンステージ」。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【公式プログラムご協賛各社】



A4 カラー 44p 9,000部発行

COROLLA MIE GROUP	日産・自動車大学校	本田技研工業株式会社	横浜ゴム株式会社
-------------------	-----------	------------	----------

【サーキットビジョンご協賛社】



コカ・コーラ

【PRブースご出展各社】



株式会社エイチ・ピー・アイ	有限会社ハーテリー
株式会社シグマ	ブリッド株式会社
シーシーアイ株式会社	株式会社レイズ
TONE株式会社	

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

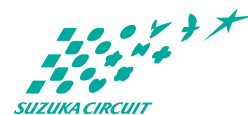
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2017年5月1日現在